

北海道日本ハムファイターズ球団を

『まほらの森林親善大使』に任命

総合計画で「まほらの南富良野」を将来像に掲げ、美しい自然と共にのびのびと生活できる「まちづくり」の一環として、水源かん養

林の整備や町木であるクミミの植栽、野球用バットの原料となるアオダモの植樹など、我が町が取り組む森林づくりに道民球団「北海道日本ハムファイターズ」にも協力していただくこと、9月3日に池部町長が札幌ドームを訪れ、今村純二球団社長に『まほらの森林親善大使』認定書を授与しました。

南富良野町では、今年から北海道に本拠地を移した日本ハムファイターズを応援しようと、昨年10月に「南富良野応援団」を結成して応援ツアーを企画するなど、町ぐるみでの応援を早くから取り組んでおり、また、昨年からアオダモ植樹

祭と少年団を対象とした野球教室を開催して、同球団から選手を招致しています。授与にあたり町長は、

「今後も植樹祭や野球教室を通じて、本町の豊かな森林の魅力を全国に普及してください。」と述べ、認定書とカヌーに使用するパドルの木製レプリカを贈呈しました。

また、本町特産の「バタじゃが」と「くまささ茶」の宣伝ポスターにも出演している球団マスコット「ブルスキー・ザ・ベアー」(B・

Bくん)も駆け付け、愛嬌を振りまきながら授与式に花を添えてくれました。



今村球団社長へ町長が認定書を授与



B・Bくんが出演する町特産品の宣伝ポスター



「森と緑とまちづくりの集い」 in 南富良野

堀達也・前知事が講演

職員、近隣市町村の林業関係者、町民など約250名が参加しました。



8月30日、「森と緑とまちづくりの集い」 in 南富良野実行委員会(池部彰委員長)と北海道上川南部森づくりセンター主催の林務関係職員特別研修会が、北海道森と緑の会理事長の堀達也氏(前北海道知事)を招いて本町で開催されました。現地研修では、東大演習林や道有林のほか、本町の「レイニス100年の森(幾寅)」や「広葉樹の森(北落合)」を見て回り、「エジンバラ公の森公園」では、堀理事長、青木上川支庁長、池部町長の3名がアオダモの記念植樹を行いました。また、翌31日には、「森と緑とまちづくり」をテーマに総合福祉センターで堀達也氏の講演会が行われ、道

講演の中で堀理事長は、昭和42年から2年間、旭川林務署勤務時代に金山地区の道有林を担当した経験があり、「林業は、現場を歩き、自分の目で確かめながら実地に学ぶことが大事。日本の食料基地である北海道の山づくりは、農業用水を確保する環境資源として欠かせない。南富良野町のように、森林と一体となった町づくりが望ましい。」と語り、「これからは国有、道有、民有ごとに山を管理するのではなく、流域全体で管理すべき。」と指摘しました。



エジンバラ公の森で記念植樹